

ふくおか & MAFF

2025.2
Vol.67

2025年2月21日発行

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- 福岡空港でインバウンドを対象とした「九州いちご試食イベント」を開催しました！
- みどり認定や見える化の説明を行っています
- 県内の団体が選定・受賞
～ディスカバー農山漁村（むら）の宝(第11回選定)・サステナアワード2024～
- ランピースキン病に関する情報提供

福岡空港でインバウンドを対象とした「九州いちご試食イベント」を開催しました！

九州農政局では1月28日から2月3日にかけて、インバウンドの皆さまに九州いちごのおいしさ・魅力を知っていただき帰国後の購買につなげるため、福岡空港国際線旅客ターミナルビルにおいて「九州いちご試食イベント」を初開催しました。

28日に開催されたオープニングセレモニーでは九州農政局の緒方局長から「それぞれ特長の異なる九州いちごの魅力を伝えて認知度の向上を図りたい」との挨拶の後、福岡県のあまおうを始め、九州7県で生産された9種類のいちごを食べ比べていただきました。7日間の開催を通して、主にアジアの国・地域の皆様が試食することで、その違いを知るとともに、インフルエンサー等による魅力発信につながりました。



挨拶する九州農政局緒方局長（中央）



外国人観光客にいちごの特長を説明し、試食していただいている様子



福岡県拠点の職員もスタッフとして参加しました！



提供した9種類の九州いちご
上段左から、あまおう、いちごさん、ゆうべに、中段左から、ゆめのか、淡雪、さがほのか、下段左から、ベリーツ、さつまおとめ、恋みのり

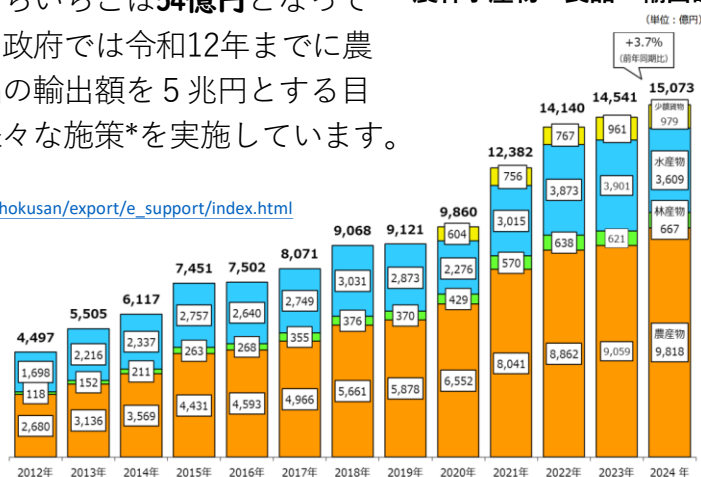
<農林水産物・食品の輸出状況>

2024年は1兆5,073億円で過去最高を更新しました。そのうちいちごは54億円となっています。現在、政府では令和12年までに農林水産物・食品の輸出額を5兆円とする目標を策定し、様々な施策*を実施しています。

*支援策についてはこちら

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_support/index.html

農林水産物・食品 輸出額



※財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

<GFPによる支援>

農林水産物・食品輸出プロジェクト（GFP）では輸出に取り組む生産者等へ、海外ニーズに合った製品の安定した生産や、輸出先国・地域の諸規制への対応等、輸出に関する課題の解決に向けたアドバイス等を実施しています。



長崎いちごPRキャラクター ゆめずきんちゃん



みどり認定や見える化の説明を行っています

福岡県拠点では県内の生産者や関係機関を対象にみどりの食料システム法に基づく認定制度（みどり認定）や農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」の説明を行っています。

先日は有機栽培を学ぶことができる民間のビジネススクールのアグリガーデンスクール&アカデミーを訪問し、授業後に受講生や卒業生へ説明を行いました。また、質疑応答や意見交換を通じて、みどり認定と見える化は別々の申請であることを説明し、見える化の算定シートの入力方法やみどり認定に関連する環境負荷低減の取組事例等を紹介しました。



みえるらべる▲



県内の団体が選定・受賞

～ディスカバー農山漁村（むら）の宝(第11回選定)・サステナアワード2024～

地域の活性化や所得向上につながる農山漁村の優良な取組事例を選定する「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第11回選定）、食や農林水産業に関わるサステナブルな取組動画を表彰する「サステナアワード2024」において、県内の団体の取組が選定・受賞しました。

ディスカバー農山漁村（むら）の宝 優良事例30地区

団体名 NPO法人SDGs Spiral（北九州市）
キャッチフレーズ SDGs万華鏡KAGUYAプロジェクト



取組概要はこちら▼

https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/PDF/r6_sennteii30-2.pdf

サステナアワード2024 地域資源循環賞

受賞者 JA全農ふくれん・福岡市
作品名 循環資源でつなぐ農業の未来



動画はこちら▼

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/being_sustainable/sa2024.html



ランピースキン病に関する情報提供

昨年11月、県内の乳用牛飼養場において、国内で初めてランピースキン病の発生が確認されました。ランピースキン病はランピースキン病ウイルスによって引き起こされ、牛の皮膚等に病変が生じる疾病です。死亡率は高くなく、自然治癒しますが、本病を発症した牛の早期発見、隔離、移動の自粛、ワクチン接種等の総合的な防疫対策によって、本病の発生及び感染拡大を効率的かつ効果的に防止することが重要です。

また、ランピースキン病は主にサシバエ等の害虫の媒介により感染が拡大します。春先以降、サシバエ等の活動が活発になります。乳牛等の農場に出入りする際は、ウイルスを運ばないために①車両の洗浄・消毒、殺虫の徹底②サシバエ等を防除するための殺虫剤の使用③農場ごとに専用の衣服、長靴交換の徹底等をお願いします。

ランピースキン病の感染拡大防止！ 車両や人による 農場から農場への伝播を防止しましょう

ランピースキン病は、主にサシバエ等による機械的伝播により感染が拡大しますが、車両や人もウイルスを運ぶ可能性があります。

車両がウイルスを運ばないために

- ▶ 農場に出入りする全ての車両は洗浄・消毒、殺虫を徹底！
- ▶ 車内に入り込んだサシバエ等も、確実に殺虫！

特に暑い時期、サシバエ等は暑い車内に集まりやすく、車内にも侵入します。

資材（牧草ロールや敷料など）にもサシバエ等が入り込む可能性があるため、搬入時確認！

人がウイルスを運ばないために

- ▶ 農場ごとに専用の衣服、長靴（ブーツカバー）交換の徹底！
- ▶ 注射針、人工授精用器具等は確実に一頭ごとに交換又は消毒！
- ▶ 聴診器等、皮膚に接触する器具も適切に消毒！

農場から農場への伝播拡大防止！



【お問合せ先】

九州農政局福岡県拠点地方参事官室
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261（代表）
<https://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

